

A stylized world map in shades of teal and blue, serving as the background for the title text.

# NACISIS-CATにおける

## 品質の向上と

## ILL業務の改善

～世界に羽ばたけNACISIS-ILL～

島根大学 小豆澤 悦子

立命館大学 大野 淳子

北陸先端科学技術大学院大学 中村 律子

# 目次

- 1 .はじめに
- 2 .論文検索データベースの普及と  
ILL依頼件数の増加
- 3 .NACISIS-CATにおける雑誌目録の現状
- 4 .ILL業務の現場では
- 5 .NACISIS-CATの品質についての問題点
- 6 .NACISIS-CATの品質向上とILL
- 7 .おわりに・・・世界に羽ばたけNACISIS-ILL

# 2 論文検索データベースの普及と ILL依頼件数の増加

## 2-1.NACISIS-ILLの仕組み

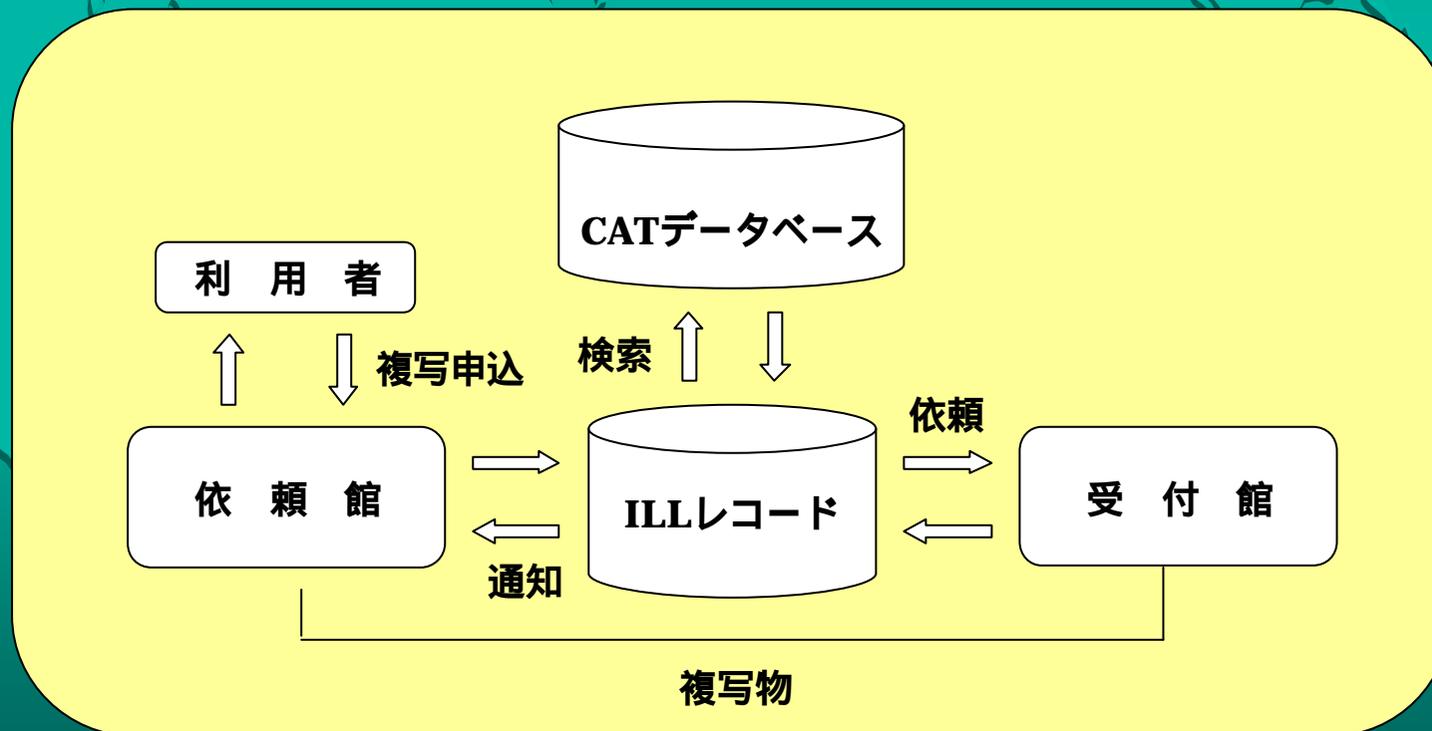


図1 ILL業務の流れ図

# 2 - 2 .NACSYS-ILL処理件数の推移

NACSYS-ILLによる依頼レコード件数及び参加機関数の推移

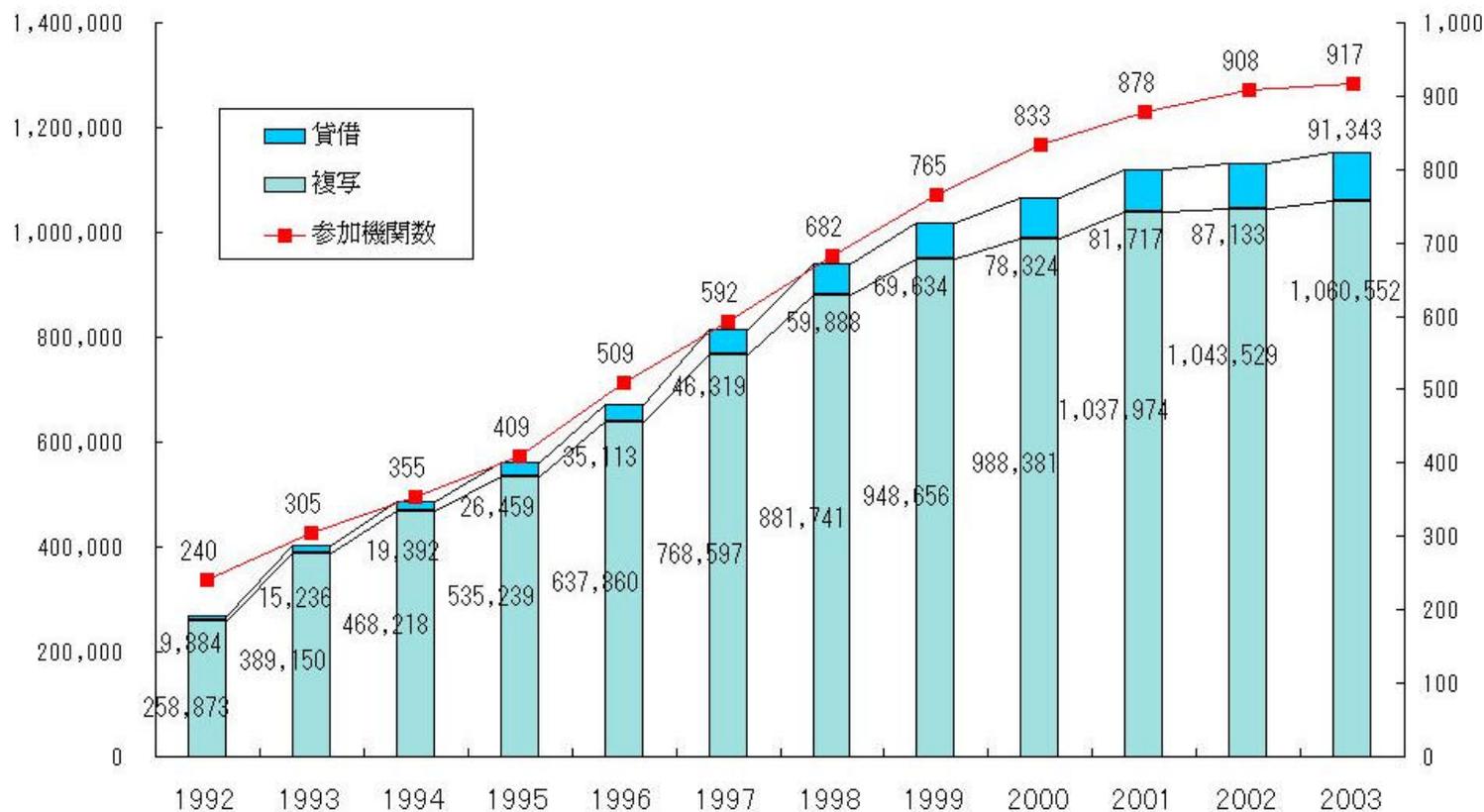


図2 NACSYS-ILLによる依頼レコード件数  
(NACSYS-CATホームページより抜粋)

## 2 - 3 .ILL依頼件数の増加

### <増加の原因>

- 論文検索データベースの普及
- 雑誌購入予算の削減
- 処理の迅速化により  
複写物が入手しやすくなった
- 料金相殺サービス参加館の増加

# 3 .NACISIS-CATにおける 雑誌目録の現状

## 3 - 1.雑誌目録の現状

- 雑誌目録の専門性の認識不足
- 雑誌書誌は一部の図書館が作成  
(ランキング上位13館で全体の50%以上)
- あやまった書誌に所蔵がつけられる  
書誌データの信頼性
- 所蔵データの未更新  
所蔵データの信頼性

## 3 - 2 . 雑誌目録に関するアンケート

大学名	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	備考
A	目録情報係	目録情報係 雑誌担当 & 財務部	×	学総目作業時		特にローカルデータが分かりにくい
B	目録掛	受入掛 & 目録掛	×	学総目作業時	×	データの更新頻度は、担当者 (和洋) によって異なる
C	学術サービス係	学術サービス係 & 学術管理部	×	年 1 度		受入担当者は図書系職員でない
D	図書管理係	図書管理係		学総目作業時		学総目作業時に中止、新規雑誌についてのみ更新
E	整理担当	雑誌センター	×	3 ~ 4 ヶ月に 1 度		図書地域講習会は受講済み
F	電子情報系	雑誌情報系	×	学総目作業時	×	適正にデータ更新が行われていないため OPACレベルでもデータ不具合あり
G	情報システム課 図書整理係	受入係		チェックインごと		講習会受講者 2 名
H	情報システム課 目録情報係	情報管理課 雑誌受入係		不明	不明	
I	目録係	雑誌係		チェックインごと		体制は、アウトソーシング

問 1 : 図書目録を担当しているのは ?

問 2 : 雑誌目録を担当しているのは ?

問 3 : NACSIS - CAT 目録講習会 (雑誌コース) の雑誌担当者参加状況は ?

問 4 : NACSIS - CAT 雑誌所蔵データの更新頻度は ?

問 5 : NACSIS - CAT 雑誌所蔵データの適正管理について ?

**表 1 : 各大学の雑誌目録に関するアンケート結果 (2004年 12月現在)**

## 3-3. 所蔵データの未更新

- 所蔵データが定期的に更新されていない  
信頼できるデータではない

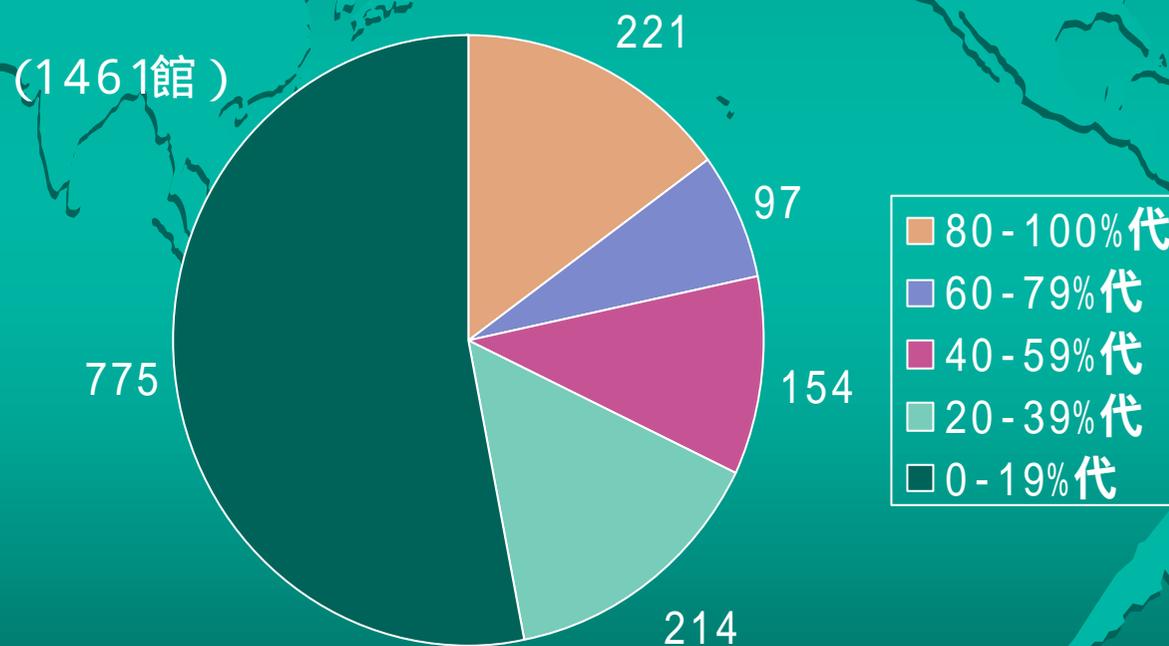


図3 継続所蔵未更新比率

# 4 .ILL業務の現場では

## 4 - 1 .謝絶件数の推移

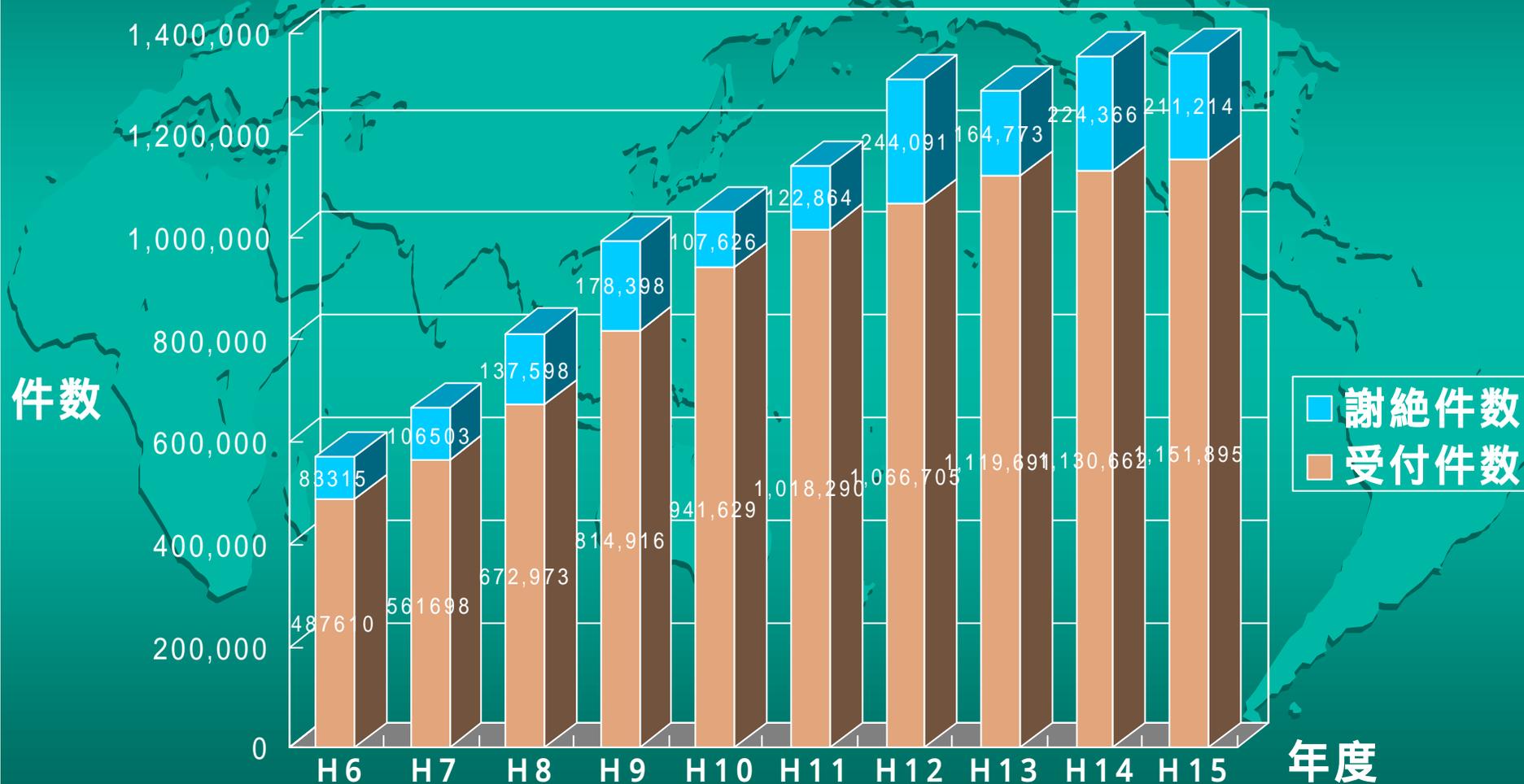


図4 :ILL謝絶件数の増加

## 4 - 2 . 謝絶件数の増加

### < 受付館側の問題 >

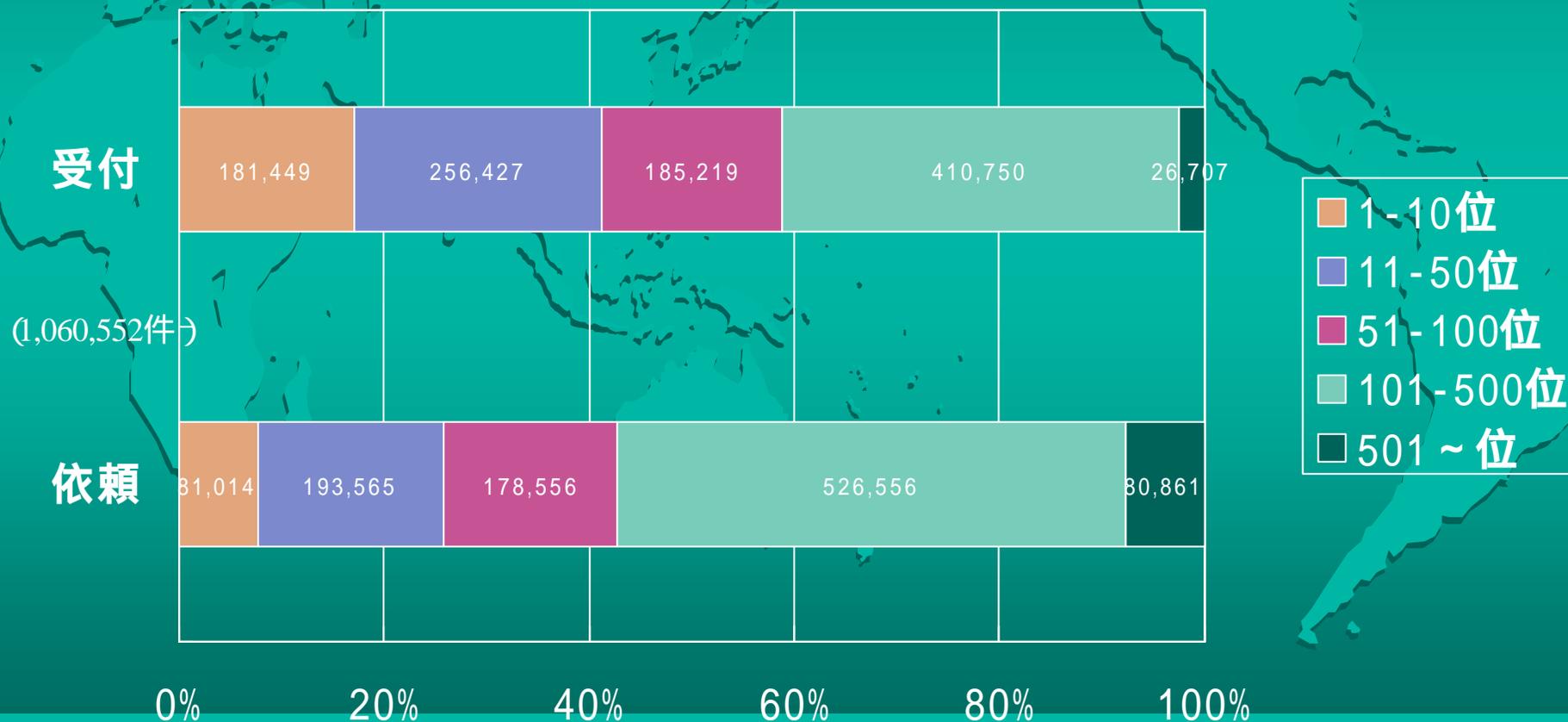
- 増加の原因

研究室所蔵資料への対応  
処理件数の増加、人員不足  
受付館の運用上のポリシー

労力・時間がかかる  
処理件数の限界

# 4-3. 各館のILL受付件数

図5:平成15年度ILLレポート件数ランキング(受付・依頼)



## 4 - 4 .特定の図書館への依頼集中

< 依頼館側の問題 >

- 集中する原因

早く確実に処理してくれるところに依頼する

同じ図書館に依頼してしまう

相殺制度不参加館に依頼しにくい

受付候補館が少なくなる

# 5 .NACISIS-CATの 品質についての問題点

## 5 - 1 .書誌データにおける問題点

- タイトル類似による誤った書誌への所蔵登録
- 複雑なタイトル変遷による誤った所蔵登録
- 重複書誌や図書 / 雑誌の両方に書誌があるものの所蔵データ分散

## 5 - 2 .所蔵データにおける問題点

- 未登録所蔵  
(ローカルのみ登録、古い資料、OJ)
- 所蔵データの未更新
- 資料の配置場所が明確でない

## 5 - 3 .ILL業務における弊害

### < 書誌データ >

- ・的確に受付候補館を選択できない
- ・受付候補館が少なくなる

### < 所蔵データ >

- ・所蔵データの信頼性
- ・研究室所蔵かどうかわからない

謝絶の可能性

## 5-4.問題がおこる原因

### <書誌データ>

- ・書誌データの複雑さによるうっかりミス
- ・雑誌目録担当者に知識がない

### <所蔵データ>

- ・CATとローカルシステムとの連携ができていない
- ・チェックする手間がない
- ・担当者の意識が不足
- ・OJは目録登録の負担が大きい

## 6.CATの品質向上とILL

\*望まれる目録データベースとは？

- (1)正しい書誌作成が行われること
- (2)多くの雑誌書誌が登録されること
- (3)所蔵登録館が増えること
- (4)所蔵データが最新であること
- (5)ILLで利用可能かどうか判断できること

## 6 - 1 .雑誌目録担当者の知識向上

(1)正しい書誌作成が行われるために

< 解決策 >

雑誌目録担当者の知識の向上

・的確な書誌作成

・研修の機会を増やす

## 6 - 2 .書誌・所蔵データを増やす

- (2)多くの雑誌書誌が登録されること
  - (3)所蔵登録館が増えること
  - (4)所蔵データが最新であること
- 所蔵データを  
増やす

### < 解決策 >

- ・遡及入力呼びかけ
- ・各館での体制づくり

- ### < 提案 >
- 学総目作業時の説明会の充実  
(講習会・情報交換・事例発表など)

## 6 - 3 . 所在情報をはっきりさせる

(5) ILLで利用可能かどうか判断するために  
研究室所蔵は謝絶される傾向にある

所在情報を明確にする

< 提案 >

図書館所蔵・研究室所蔵など配置コードを  
分けて管理する

## 7.おわりに

### ～世界に羽ばたけNACISIS-ILL～

- CATの品質向上による

謝絶と依頼集中の回避

- 効率のよいILL業務
- 海を越えるグローバルILL

信頼できる目録データベースを目指して・・・